

2026 年 8 月 18 日

Green Earth Institute 株式会社

GEI、中長期ビジョン実現に向けた実証プラント建設に着手 ～木質バイオマス由来バイオエタノール事業の社会実装に向けた取り組みを加速～

Green Earth Institute 株式会社（以下、「当社」）は、大王製紙株式会社（以下「大王製紙」）と共同推進する木質バイオマス由来パルプを原料としたバイオエタノール生産事業において、実証プラントの工事着手に先立ち、工事安全祈願祭を執り行いましたのでお知らせします。当社は大王製紙とともに、これを機に実証プラントの建設工事へ本格的に着手します。

本取り組みは、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の「バイオものづくり革命推進事業（第1回）」（以下「本事業」）※¹の一環として推進するもので、実証プラントの建設地は三井化学株式会社茂原工場（千葉県茂原市）内にある当社のバイオファウンドリ研究所に隣接する敷地となります。

工事安全祈願祭は2026年8月17日上総一之宮玉前神社（千葉県長生郡一宮町）にて、当社の他、大王製紙、工事関連事業者の参列のもと執り行われました。

本実証プラントは最大5キロリットルの発酵槽を備えた連続同時糖化発酵設備を中核とするもので、2027年度の稼働を予定しています。2025年3月より開始したベンチスケール試験において蓄積された運転データや知見を活用し、商業化に向けた技術確立およびスケールアップ検証を進めてまいります。

本実証プラントが稼働すれば、当社が2026年7月に公表した中長期ビジョン※¹において示した成長カーブの最初のマイルストーンである「セミコマ（研究開発段階から商業生産段階への橋渡しとなる商業化手前の実証プラント）稼働」のうちのひとつとなるもので、当社の事業成長プロセスにおいて具体的な進展と位置付けられます。当社は、この「セミコマ」を経て、木質バイオマス由来バイオエタノールの事業化を推進する計画を掲げており、本プラントは、その第一段階を担う重要な位置付けとなります。

当社は、本プラントによる実証を通じて着実に事業化リスクの低減を図り、その先にある商業プラントの実現とつなげることで、中長期ビジョンで掲げる「バイオ燃料エネルギー革命」の実現を目指してまいります。

※1 既出の関連ニュースリリースとしては、以下のとおり。

2026年7月15日 当社ニュースリリース「[中長期ビジョン策定に関するお知らせ](#)」

2026年7月2日 当社ニュースリリース「[木質バイオマス由来パルプからのバイオエタノール生産において連続同時糖化発酵プロセスによる34日間連続運転を達成](#)」

2025年3月26日 当社 ニュースリリース「[NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の助成期間延長の交付決定通知](#)」

2024年3月27日 当社 ニュースリリース「[NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の確定通知（修正）のお知らせ](#)」

らせ」

2024 年2月5日 当社 ニュースリリース「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の確定通知」

2023 年10月11日 当社 ニュースリリース「NEDO バイオものづくり革命推進事業に「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証」の採択決定」

以上